

新興国レポート

# インドの銀行の不良債権比率の動向

## RBIがインドの銀行の不良債権比率上昇の可能性を指摘

- RBI（インド準備銀行）が金融安定化報告書で、インドの銀行（指定商業銀行）の不良債権比率が、2020年3月期の8.5%から2021年3月期には12.5%に上昇するとの見通しを示す。
- 不良債権の増加懸念は銀行の貸出態度を硬化させ、経済に悪影響を及ぼす可能性がある。不良債権比率の上昇を抑えるべく、RBIが追加の公的資金投入等の対策を急ぐことも想定される。

### (1) RBIが不良債権比率上昇の可能性を指摘

- RBIは7月24日に発表した金融安定化報告書で、いくつかのシナリオに基づく2021年3月末時点のインドの銀行の不良債権比率（貸出額に占める不良債権の比率）見通しを示しました。RBIによる国営銀行への公的資金投入や赤字国営銀行の整理等により、2018年3月期をピークに2年連続で低下した不良債権比率が、2021年3月期は再び上昇すると予想しています。
- 2020年度（2020年4月～21年3月）の経済成長率が前年度比4.4%減、物価上昇率が同4.1%増等とする標準シナリオで、インドの銀行の不良債権比率は2020年3月の8.5%から12.5%に、更に2020年度の経済成長率が同8.9%減、物価上昇率が同11.8%増となる等、非常に厳しい経済環境を想定したシナリオでは14.7%に上昇する可能性があるとして指摘しました（図表1）。

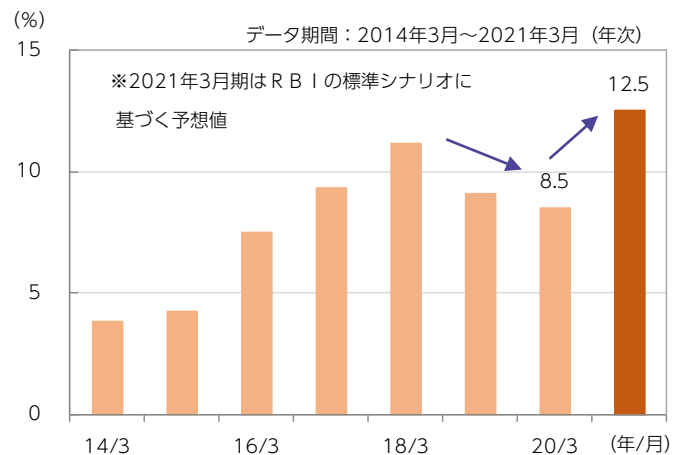
### (2) 銀行の貸出額の伸びは鈍化

- RBIは2019年2月に金融緩和姿勢に転じた後、2020年3月までに計6回、合計2.1%の利下げを行っています。しかし複数回の利下げにも関わらず、インドの銀行の貸出額の伸びは2019年1～3月期を直近ピークに減少傾向を続けています（図表2）。景気後退で企業業績の悪化懸念が強まる中、銀行が新たな不良債権の発生を恐れ、貸出に慎重になっていること等が影響しているものと思われます。

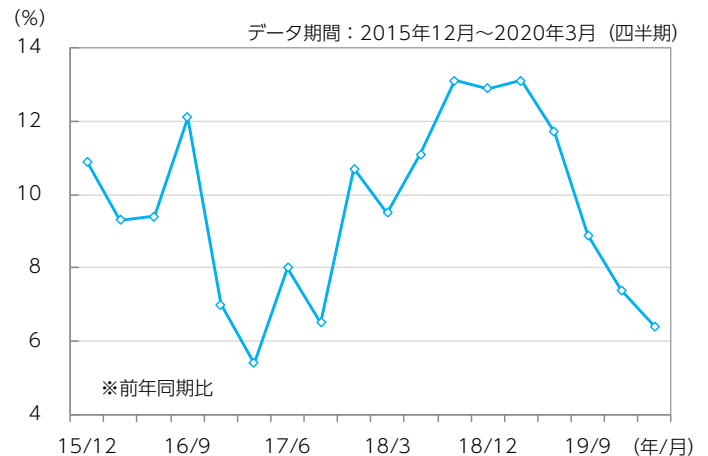
### (3) RBIが公的資金の投入等を急ぐ可能性も

- インドの銀行の不良債権比率は主要新興国の銀行と比べても高く（図表3）、経済への悪影響を危惧する見方もあるようです。
- 今回の金融安定化報告書における不良債権比率の見通し等を受け、RBIが不良債権比率の上昇を抑えるために追加の公的資金投入や破産処理手順の簡素化等の対策を急ぐことも考えられます。

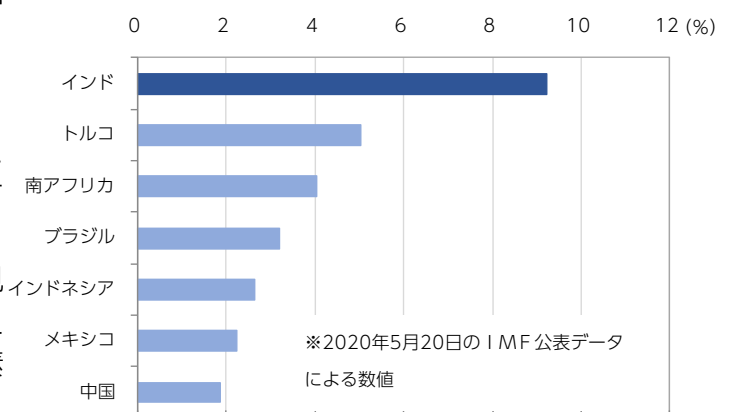
図表1：インドの銀行の不良債権比率



図表2：インドの銀行の貸出額の伸び率



図表3：主要新興国の銀行の不良債権比率



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>